

第3学年 社会科学学習指導案

指導者 内藤茂樹
小林洋子

1 単元名 見直そう わたしたちの買い物 学習指導要領 内容(2)

2 単元について

買い物調べやスーパーマーケットの見学を通して、よりよい生活を求める消費者の工夫や努力をとらえ、それらと関連づけながら、販売に携わる人々も様々な工夫や努力をしていることを理解させる。そして、上手な買い物の仕方について考え、消費者としての意識を高めさせることをねらう単元である。

まず、児童は買い物調べを行う。自分の家の人がどこで何を買っているか調べることで、様々な販売の形態があることをとらえる。個人商店、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、ショッピングセンターといったものが考えられるだろう。これら以外にも、通信販売やインターネットショッピングといった、店を直接通さずに購入する形態があることにも気付くはずである。またそれとともに、買い物調べの結果を互いに発表し合うことで、みんながよく行く店がどこなのか、どうしてその店によく行くのかを考える。その店のよいところや工夫や努力について関心をもつことで、その後の店の見学への興味関心を高める。

次に、店の見学については、買い物調べの結果をもとに児童や家の人がよく行く店で、販売者の工夫や努力が多く発見できる店を選択する。児童が店を直接見学したり、店の人にインタビューしたりして、販売者の様々な工夫や努力を具体的にとらえられるようにする。同時に、店で買い物をしている人にインタビューすることで、買い物をする際の消費者の側の工夫や努力にもふれられるようにする。

こうして調べたことをもとに、よい品物とは何か、上手に買い物をするためにはどうしたらよいかを子どもたちがそれぞれ考えをもち、それを互いに発表し合う。互いの考えを知ることによって、「消費者としての自分」の意識がより高まることが期待できる。

そういった考えをまとめ、振り返り、表現する場として、単元の最後に店のちらしを作る活動を取り入れる。店の人になったつもりで、店の宣伝広告のちらしを作ることを通して、子どもたちは、店の人がものを売るためにどんな工夫や努力をしていたか、あるいは、買い物をする人が上手な買い物をするためにどんな工夫や努力をしていたかを振り返ることができる。こうして、販売者と消費者の両方の立場から考えることができるのである。販売者として考えたことをちらしにして友達に伝える。そして、消費者としてちらしを見て考えたことを友達に伝える。この伝え合いを通して、児童は、買い物について様々な考えにふれることができる。同時に、児童は自分の考えを振り返り、見直すことができる。だからこそ、単元最後のこの伝え合いの活動を大切にして指導をしていきたい。

<金銭教育に関わって>

本単元は、金融教育の「キャリア教育に関する分野」で、目標の「生きる意欲と活力」と関係している。また、「消費生活に関する分野」で、目標の「自立した消費者」とも関係している。金銭教育を推進するに当たっては、「ひと・もの・こと」すべてとのつながりの大切さを学ばせることによって、ものやお金を大切にすることの育成につなげたい。

買い物という題材は、金銭教育に直接かかわりがあると同時に、『児童に「ひと・もの・こと」とのつながりの大切さ』を学ばせ、生きる力を育成することをめざす本校のねらいとも深くかかわりがある。

金融広報委員会から出されている「学習指導要領における金融教育関連箇所」の中で、社会の内容として「地域の人々の生産や販売について、見学したり調査したりして調べ、それらの仕事に携わっている人々の工夫を考えるようにする。」の部分が示されていて、この単元が該当することになる。

本単元を通して、児童は、販売者と消費者とのつながりを主に学習することになる。販売者がどんな努力や工夫をして消費者のニーズに応えようとしているのか。また、生産者とのつながりの中で、生産者が販売者や消費者に対してどんな思いで生産活動をしているのか。ものを媒介としながら「ひと」とのつながりを実感することができる題材である。

また、本単元で学習するスーパーマーケットでの買い物というのは、児童の日々の生活に直結するものである。普段何気なく家の人の買い物に同行していたり、自分の欲しいものを買ったりしている経験を振り返ると同時に、本単元で学習したことを踏まえて、「上手な買い物とはどうすることなのか」を考えることを通して、児童がくらしにかかわる「もの」やお金を大切にすることの気持ちをもつことができる。

さらに、スーパーマーケットの見学を通して、店で働く人の努力や工夫にふれることができる。この学習を生かし、単元の最後にくらしを作る活動を通して、働く人の立場になることができる。これらのことから、児童は働く「こと」の大切さに気づいたり、自ら働いてみようと考えたりすると思う。

このように、本単元は、単元全体を通して、児童が自分の生活を振り返り、見つめ直すことができる有効な題材である。

<児童の実態>

男子16名、女子6名、計22名の学級である。明るく素直な児童が多く、休み時間にはほとんどの児童が外で体を動かしている。

授業中、休み時間を問わず、自分の思いを素直に表現できる児童がたくさんいる。その思いを伝え合うことで、授業では学習内容に深まりがでることもある。

本単元で扱うスーパーマーケットでの買い物については、ほとんどの児童が経験している。学校の近くにあるスーパーマーケットでの経験なので、すべての児童がある程度共通した認識をもちながら学習活動に取り組むことができるのは、好材料である。しかし、児童が

一人で買い物をした経験はほとんどない。そこで、普段の買い物の経験を生かしつつ、これまで気付かなかったことを理解し、自分の生活をよりよくしようとする心情を育てていきたい。

3 単元の目標

- 地域の人々の販売の仕事の様子に関心をもち、意欲的に調べることを通して、自分たちも工夫して消費生活を営んでいこうとすることができるようにする。【社会的事象への関心・意欲・態度】
- 地域の人々の販売の仕事の様子から学習問題を見いだして追究し、販売の仕事に携わっている人々の工夫や努力、自分の暮らしと販売の仕事とのつながり、上手な消費生活の仕方について思考・判断したことを、適切に表現することができる。【社会的な思考・判断・表現】
- 家庭の買い物の様子や地域の人々の販売の仕事の様子について、的確に見学・調査したり、具体的資料を活用したりして必要な情報を集め、読み取ったりまとめることができるようにする。【観察・資料活用の技能】
- 地域の販売の仕事に携わっている人々は、消費者の求めに応えられるよう、様々な工夫や努力をしていることや、販売の仕事は他地域と結びついていること、自分たちの消費生活を支えていることを理解することができるようにする。【社会的事象についての知識・理解】

4 指導計画と評価計画（全16時間）

時	目標	学習活動	評価規準
1 2 3 4	自分たちの家庭では、普段どこで買い物をしているのかを発表し合うことを通して、買い物の仕方について調べる意欲をもつことができるようにする。	①自分たちの生活を振り返り、普段どんな店で買い物をしているか話し合う。	関：自分や家の人のお買い物の仕方に興味をもち、意欲的に調べようとしている。
	自分たちの家庭のお買い物について調べる計画を立て、実際に調べることができるようにする。	②家の人や、どの店で何を買っているか調べる計画を立てる。	関：自分や家の人のお買い物の仕方に興味をもち、意欲的に調べようとしている。
	買い物調べの記録をもと	③買い物調べの結果を表や	技：買い物調べの結果を表

	<p>に、買い物の傾向について表やグラフ、地図にまとめ、自分たちの家庭の買い物の様子をとらえることができるようにする。</p> <p>買い物調べを振り返りながら、それぞれに買い物をしている店のよさや特徴をとらえ、店の様子を調べる意欲をもつことができるようにする。</p>	<p>グラフにまとめる。</p> <p>④みんながよく買い物に行く店のよさについてについて話し合う。</p>	<p>やグラフにまとめようとしている。</p> <p>関：よく買い物に行く店のよさや特徴について調べる意欲をもっている。</p>
<p>5 6 7 8 9 10</p>	<p>多くの人が買い物に行くスーパーマーケットで行われている工夫を予想し、調べることを明らかにしたうえで、見学の計画を立てることができるようにする。</p> <p>スーパーマーケットの見学を通して、店ではお客さんが買い物しやすくするために様々な工夫をしていることに気付くことができるようにする。</p>	<p>①みんながよく買い物に行くスーパーマーケットで行われている工夫について予想し、調べる計画を立てる。</p> <p>②～④見学の計画に基づいて、店の様子・働く人の様子・買い物客の様子を観察する。必要に応じて、働く人や買い物客にインタビューをする。気付いたことやわかったことをメモする。</p> <p>⑤見学してわかったことをもとに、店の工夫や努力について考える。</p> <p>⑥スーパーマーケットで売</p>	<p>関：スーパーマーケットで行われている工夫を予想し、調べる計画を立てようとしている。</p> <p>技：店の様子・働く人の様子・買い物客の様子を観察したり、インタビューしたりして、それぞれの立場の工夫や努力をしらべている。</p> <p>技：見学したことをもとに、それぞれの立場の工夫や努力についてまとめている。</p> <p>知：スーパーマーケットの</p>

		<p>られている商品がどこから運ばれてきたのか調べ、他の地域とのつながりを考える。</p>	<p>商品が他の地域から運ばれていることを知り、他の地域との結びつきで自分たちの消費生活が成り立っていることを理解している。</p>
11 12 13	<p>スーパーマーケットの見学など、これまで調べてきたことをもとに、自分たちはどのような買い物の仕方をしていけばよいのかを話し合っ てまとめ、消費者としての意識を高められるようにする。</p>	<p>①家の人たちが普段どんなことに気をつけて買い物をしているかを調べ、それをもとに買い物の工夫について話し合う。</p> <p>②③スーパーマーケットの様子や家の人 の買い物の工夫などについて振り返り、自分はどんなことに気をつけて上手に買い物をすればよいかを考え、話し合う。</p>	<p>関：家 の人の買い物の工夫について調べている。</p> <p>思：これから自分がどんなことに気をつけて買い物をすればよいか考え、発表している。</p>
14 15 16 本時	<p>自分が店の人になったつもりで、店の宣伝広告のちらしを作り、お客さんのことを考えた店の工夫や努力を振り返りながら確かめることができるようにする。</p>	<p>①②自分が店の人になったつもりで、店の工夫やよさを考え、グループごとに店のちらしを作る。</p> <p>③完成したちらしを 発表し合っ て、感想を話し合う。</p>	<p>技：消費者の立場を考えながら、店の工夫やよさを表すちらしを作っている。</p> <p>思：消費者の立場と販売者の立場の両方から考えたことを発表している。</p>

5 本時の学習

(1) 日時 平成26年11月13日(木) 5校時(13:00~13:45)

(2) 場所 3年教室

(3) 目標 これまでの学習を振り返りながら、店の工夫やよいところが伝わるちらしになっているか考え、ちらしのよかった点を発表することができる。

【社会的な思考・判断・表現】

(4) 展開

過程	学習活動・内容 ・予想される児童の反応	指導上の留意点 金は金銭教育の視点	評価
<p>導入</p> <p>5分</p>	<p>1 家の人がい物をするとき、どんなことに気をつけていたか振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賞味期限 ・原料 ・産地 ・生産者 ・安さ ・ポイント <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>どのグループのお店にい物に行きたいか、各グループのちらしを見て、よいところを発表しよう！</p> </div>	<p>・これまでの学習をもとにして、消費者の工夫を思い出させる。</p>	<p>・消費者の工夫を思い出し、発表している。(発言)</p>
<p>展開</p> <p>30分</p>	<p>3 各グループでつくったちらしを発表する。</p> <p>4 各グループのちらしのよかつた点を考え、発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者がわかつて安心。 ・野菜が新鮮。 ・原料が書いてある。 ・店が遅くまでやっている。 ・ポイントがたくさんつく。 ・駐車場が広い。 	<p>・販売者の立場になって、自分たちのグループのちらしでは、どんなことを消費者に訴えたいのかを考えながら発表させる。</p> <p>金消費者の立場になって、買ってみたくなる点があるかどうか考えさせる。</p> <p>・見学した店で行われていた工夫や努力を思い出しながら考えさせる。</p>	<p>・自分たちのグループのちらしで、消費者に訴えたいところを発表している。(発表)</p> <p>・消費者の立場になって考えたことを進んで発言している。(発言)</p>

ま と め 10 分	<p>5 本時を振り返り、自分が 買い物をする前にちらしを見 るとき、どんなところを見た らいいか考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・値段 ・生産者 ・原料 ・新鮮さ ・ポイント 	<p>金実際に消費者になって買 い物することを思い浮かべ ながら、考えさせる。</p>	<p>・消費者の立場にな ってちらしを見る視 点をワークシートに まとめている。(ワー クシート)</p>
----------------------------	---	--	---

(5) 本時の評価

これまでの学習を振り返りながら、店の工夫やよいところが伝わるちらしになっているか考え、ちらしのよいところを発表している。(発言・ワークシート)



